

2009年度 決算説明会資料



株式会社 SJI

2010年5月21日

1. 決算概況

◎連結

売上高 22,020 百万円 (前年比 14.6 % )

当期純利益 80 百万円 (前年比 — %)

- 国内事業 : 予想を超えた市況の下で不振
  固定費を中心とした経費削減を徹底
- 海外事業 : 概ね堅調

◎単体

売上高 8,221 百万円 (前年比 537.5 % )

当期純利益 △71 百万円 (前年比 — %)

単体

- ・2009年4月～6月
SJHD(純粋持株会社)
+
- ・2009年7月～2010年3月
SJI(事業持株会社)

※ 当社は、2009年7月1日付で純粋持株会社から事業持株会社に移行し、商号を株式会社SJホールディングスから株式会社SJIに変更しております。

●2009年度実績（予想比／前年比）【連結】

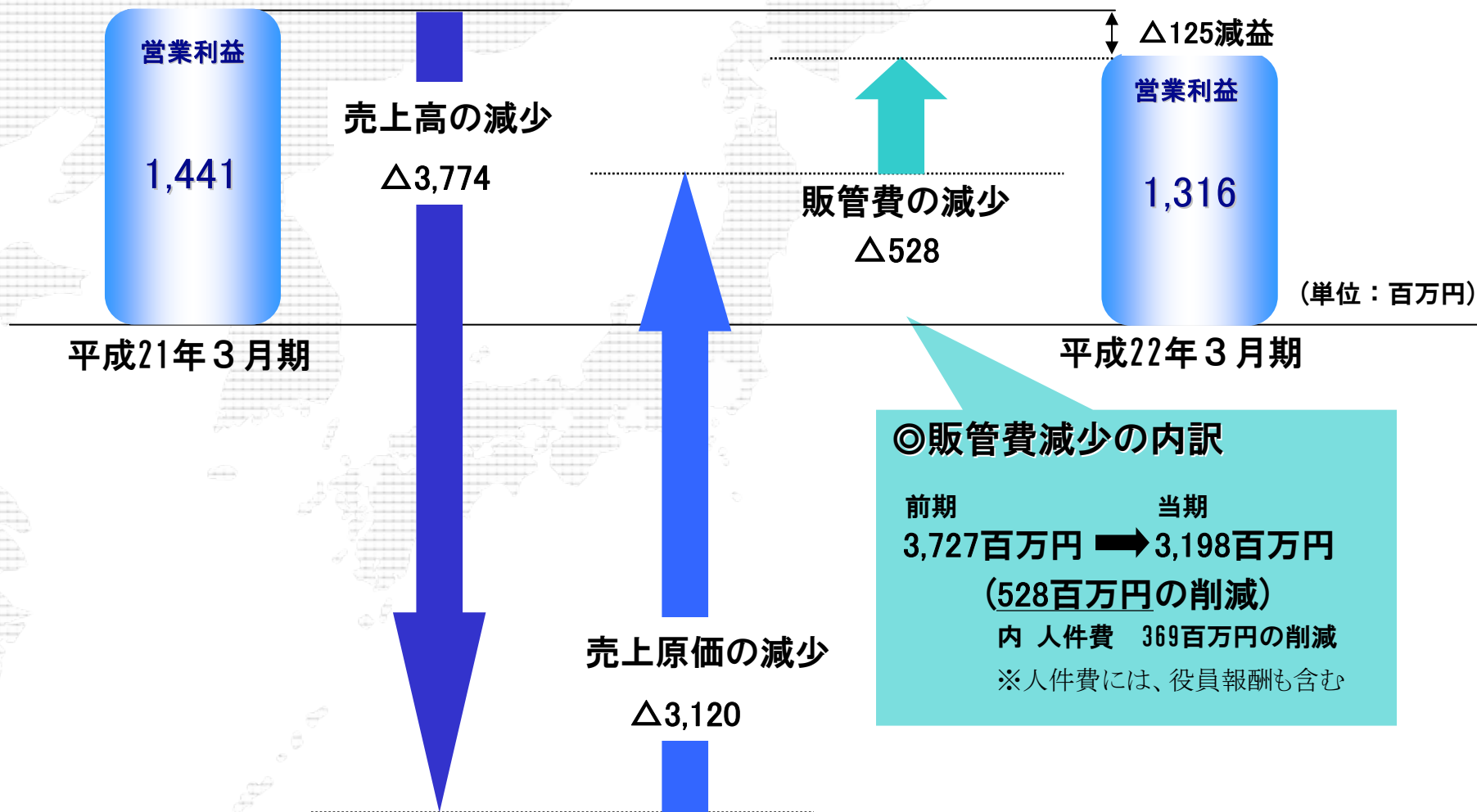
単位：百万円

	2009年度		業績予想 達成率	対前期 増減率
	数値	構成比		
売上高	22,020	100.0%	84.7%	△14.6%
営業利益	1,316	6.0%	77.4%	△8.7%
経常利益	1,241	5.6%	75.2%	△0.4%
当期純利益	80	0.4%	13.3%	—%

※ 当社は持株会社であり、連結ベースでの経営管理を行っております。単体の数値につきましては別紙『数値編』をご参照下さい。

※ 業績予想達成率は、期初予想（2009年5月15日付決算短信にて発表した予想）に対する数値を記載しています。

●営業利益の変動要因(連結・前期比)



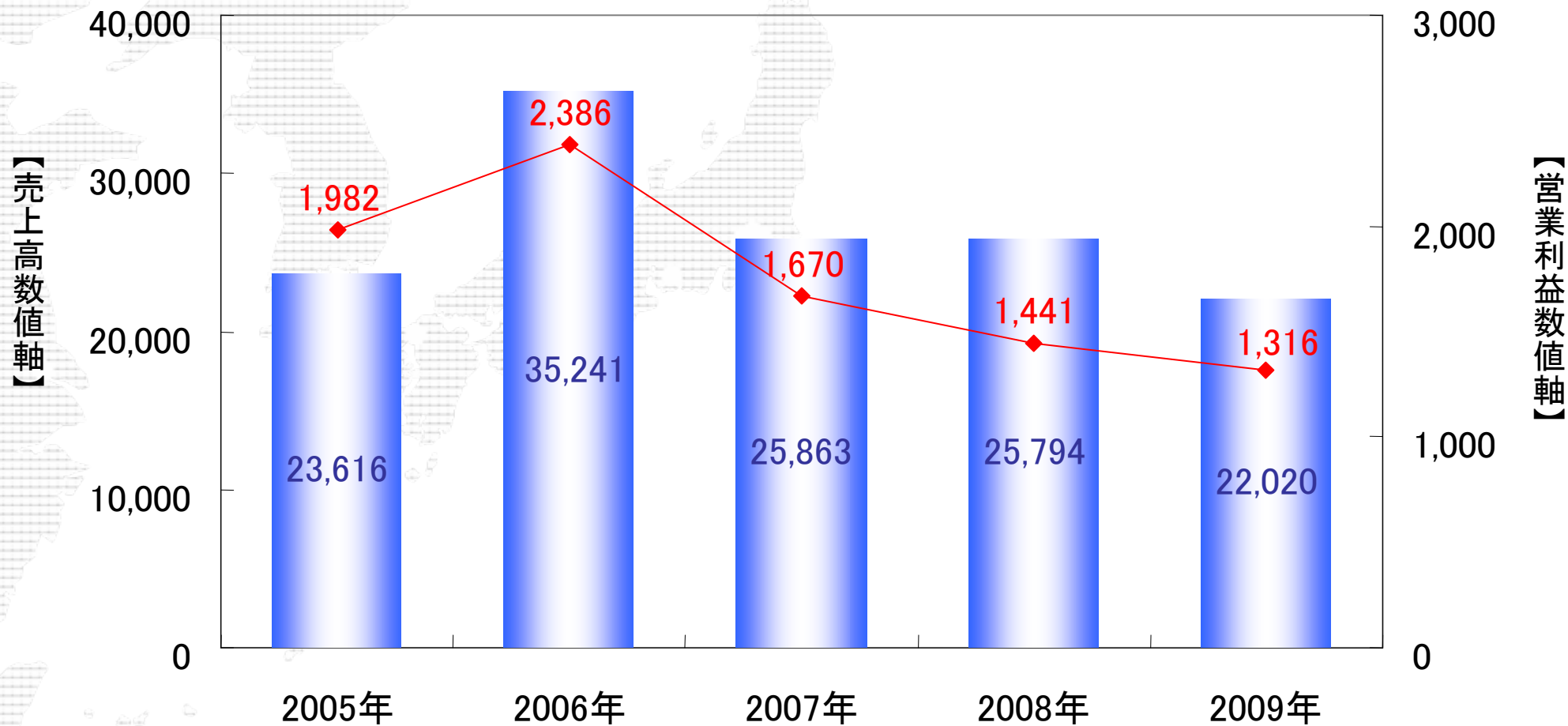
※ 売上高、売上原価及び販管費の減少は、前期比です。

●売上・営業利益推移【連結】



■ 売上高 ◆ 営業利益

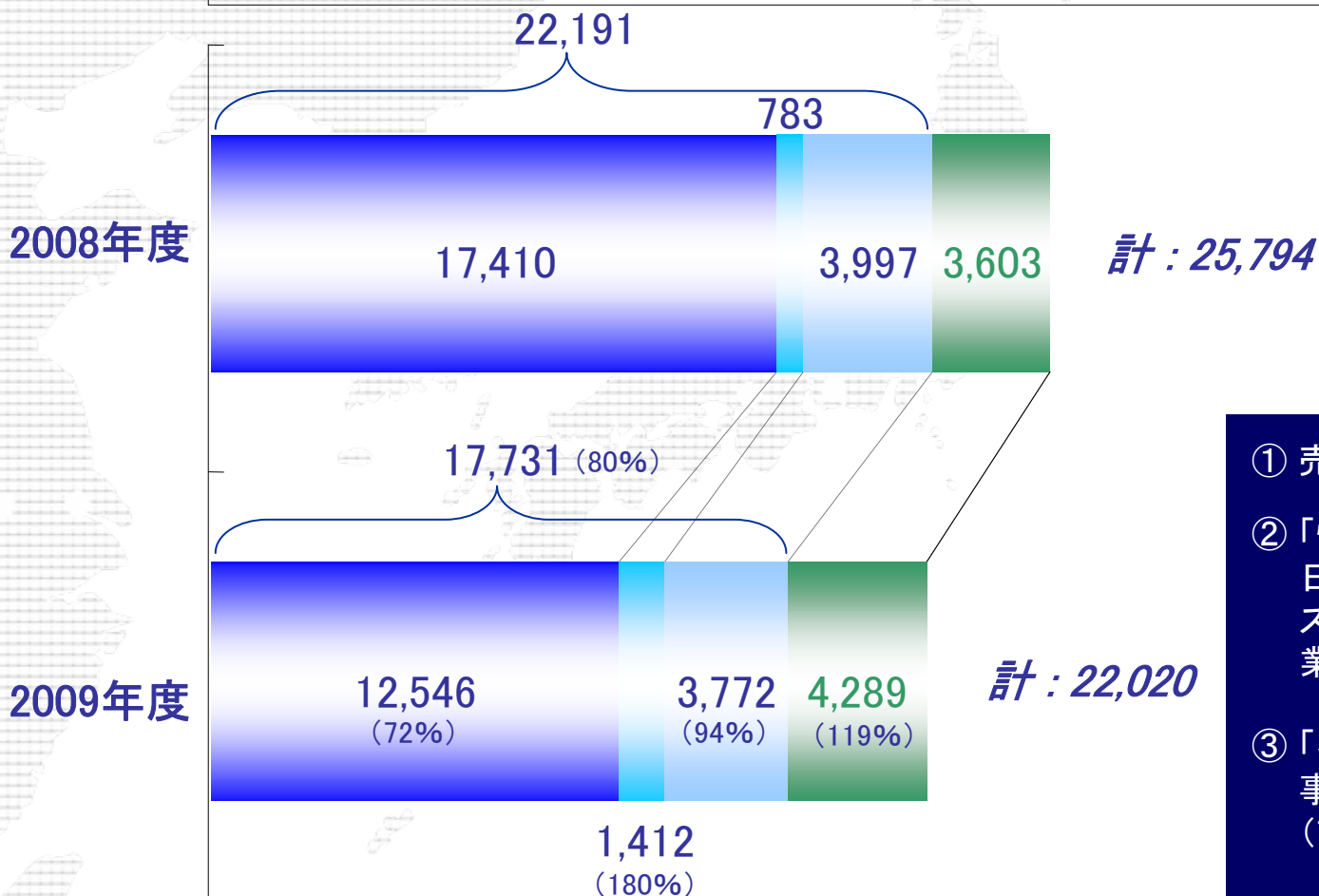
単位: 百万円



●事業の種類別売上高推移【連結】

単位：百万円

情報サービス事業（ ■ システム開発、 ■ ソフトウェア製品、 ■ 情報関連商品）
■ 石油化学エンジニアリングサービス事業



- ① 売上規模は前期と比べ1割強の減少
- ② 「情報サービス事業」は約2割の減少。
日本の受注環境悪化を主要因としてシステム開発が3割弱減少も、石油化学企業向けのソフトウェア製品売上は好調
- ③ 「石油化学エンジニアリングサービス事業」の売上は堅調で、約2割の拡大（前期比）

※ 「石油化学エンジニアリングサービス事業」につきましては、対象会社がOTCブリティンボードにおいて株式を公開すると同時に新株発行による資金調達を実施したことに伴い、当社グループの保有株式比率が低下し、子会社に該当なくなりました。

●所在地別売上高推移【連結】



■ 外部顧客に対する売上高 ■ 内部顧客に対する売上高又は振替高

単位: 百万円

【日本】

2008年度

14,795

2009年度

11,373 (77%)

【中国】

2008年度

10,999

1,240

計: 12,240

2009年度

10,647 (97%)

939 (76%)

計: 11,586 (95%)

①【日本】

顧客企業の収益悪化、景気回復の見通しの悪さに伴うIT投資先送り等により、売上規模が8割弱に留まる(前期比)

②【中国】

売上規模(外部顧客)はほぼ前期並みを維持。日本市場向け開発は第4四半期を除いて厳しかったものの、中国国内向けSI及び石油化学エンジニアリングサービス事業が堅調

③ 売上高の日中比は、およそ5:5

●所在地別利益推移【連結】

単位: 百万円

【日本】

2008年度

営業利益

546

2009年度

767 (140%)

【中国】

2008年度

1,518

2009年度

1,535 (101%)

①【日本】

利益規模は前期に比べ約4割の増加。
システム開発において稼働率と単価が共に低下したものの、鋭意経費削減に取り組んだこと等(*)が要因

②【中国】

利益規模は前期と同レベル。
石油化学エンジニアリングサービス事業の利益率が下がったものの、情報サービス事業が堅調

③ 営業利益の日中比は、およそ3:7

* 国内3社統合により事業持株会社となったことに伴い、当社管理部門に係る費用が増加し、その結果、配賦不能営業費用が増加しております。

● バランスシート概要 【連結】

単位:百万円

単位:百万円		2008年度		2009年度		増減
		数	値	構成比	数	
資産の部	流動資産	14,941	72.9%	15,391	68.3%	450
	固定資産	5,557	27.1%	7,129	31.7%	1,571
	繰延資産	—	0.0%	—	0.0%	—
	資産合計	20,499	100.0%	22,521	100.0%	2,021
負債の部	流動負債	8,845	43.2%	8,365	37.2%	△480
	固定負債	2,449	12.0%	1,626	7.2%	△823
	負債合計	11,295	55.1%	9,991	44.4%	△1,303
少数株主持分		1,860	9.1%	1,404	6.2%	△456
純資産合計		9,203	44.9%	12,529	55.6%	3,325
負債純資産合計		20,499	100.0%	22,521	100.0%	2,021

●キャッシュフロー概要【連結】



単位:百万円

	2008年度	2009年度	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	416	966	549
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,473	△1,095	378
財務活動による キャッシュ・フロー	1,030	3,915	2,884
現金及び現金同等物 期末残高	4,478	3,878	△600

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
売上高営業利益率 (%)	8.4	6.8	6.5	5.6	6.0
一株当たり当期純利益 (円)	1,945	2,741	380	△523	149
自己資本比率 (%)	35.9	42.0	36.7	35.8	49.4
R O E (%)	12.5	14.7	2.1	△3.2	0.9

※ 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式総数に基づき算出しています。また、株式分割の影響は考慮しておりません。

2. 企業活動概要

**当社を含む国内3社統合実施に伴う重複機能の統合による
経営の合理化と、迅速かつ機動的な事業展開の推進**

**システム開発事業におけるオフショア／次世代オフショア
ビジネスの再構成**

**中国向けシステム開発のマーケット拡大による収益力強化
と成長分野への投資の積極化**

●年間経営目標達成のための諸施策と取組み（国内）

国内

- 合併による顧客基盤・ネットワーク共有と営業体制の見直し
- 合併による開発力の効率的活用の推進
- 管理部門の統合、グループ内資産の共有化・有効活用実施
- アライアンスの継続的推進によるビジネスチャンスの拡大

【2009年度の取組み】

サービス体制再構築



3社合併、トップセールス・営業の組織改編を実施

稼働率の向上



営業活動を強化したものの、市況悪化の影響強く、稼働率向上ならず

間接コスト圧縮



給与・役員報酬削減、雇用調整を含む販管費削減の徹底（5億円超）

アライアンスの推進



神州数碼グループとの包括的な提携（業務・資本）の実施

●年間経営目標達成のための諸施策と取組み（海外）

海 外

- 急激な市場の変化に合致したオフショアビジネスの再構成
- 中国向け開発におけるマーケット拡大（文教、金融、保険等）
- 中国市場における成長分野への投資積極化（リスクを考慮）
- アライアンスの継続的推進によるビジネスチャンスの拡大

【2009年度取組み】

オフショア再構成



DGTインフォメーション・システム・リミテッドへの出資及び子会社化

開発マーケット拡大



中国企業向け開発の拡大(LDNS)、通信関連好調(EBT)

新規事業積極化



石油化学エンジニアリングサービス事業を営む清潔グループの株式公開

アライアンスの推進



神州数碼グループとの包括的な提携（業務・資本）の実施

●【ご参考】神州数碼グループとの提携

筆頭株主

資本提携

約30%保有の筆頭株主

➡ 神州数碼グループからの当社への期待(日中の架け橋機能)は大きい

取締役選任

資本提携

取締役の異動(社外取締役3名)

▶ 当社経営状況の迅速な把握と、意思疎通が可能に

DGTインフォメーション・システム・リミテッドへ出資・子会社化

業務提携

第4四半期の売上・利益が連結業績に寄与

日本向けオフショア開発ビジネスの強化・拡大へ

デジタル・チャイナ事業準備室の設置

業務提携

神州数碼グループとの直接ミーティングによる現場レベルでの意識合わせ

日本の優れたITソリューション・パッケージを中国市場に紹介(戦略事業開発室)

◆ 国内3社のホームページ統合と改修

- ◇ 日興アイ・アール(株)の「2009年度全上場企業ホームページ充実度ランキング」において、新興市場ランキング「最優秀サイト」(1,266社中11位以内)を受賞。
- ◇ ゴメス・コンサルティング(株)「IRサイトランキング2010」において、新興市場ランキング(総合得点)で17位。
- ◇ 大和インベスター・リレーションズ(株)「インターネットIRサイトの優秀企業580社」において、IRサイト優秀企業に選定。

3. 2010年度の業績見通し

単位：百万円

	第 2 四 半 期		通 期	
	数 値	対前期増減率	数 値	対前期増減率
売 上 高	9,470	△6.5%	20,300	△7.8%
営 業 利 益	169	12.5%	790	△40.0%
経 常 利 益	214	－ %	930	△25.1%
当 期 純 利 益	41	－ %	450	460.0%

単位: 百万円

	第 2 四 半 期		通 期	
	数 値	対前期増減率	数 値	対前期増減率
売 上 高	5,145	83.9%	11,200	36.2%
営 業 利 益	22	- %	400	51.5%
経 常 利 益	16	- %	427	28.9%
当 期 純 利 益	9	- %	254	- %

◎利益配当金について

- ➡ 成長の為の内部留保を念頭に置きつつ、株主還元を行う所存
- ➡ 利益還元は、継続的かつ安定的に実施する方針

◎一株当り配当金の実績と予定

	2008年度実績	2009年度予定	2010年度予定
1株当り配当金	200 円	100 円	200 円

4. 当期の事業展開について

『顧客の要望に応え、信頼を得る』努力を1年365日積み重ねる

神州数碼グループとの提携を軸に『情報サービスにおける日中の架け橋』となる

グループ財務体質の強化及び投資資金の効率運用

●年間経営目標達成のための諸施策



国内

- 主要顧客の重点的開拓による一括受託開発の受注拡大
- 回復が見込めるオフショア開発の事業展開の積極化
- 日系企業向けソリューションビジネスの開始

一括受託開発拡大

オフショア開発積極化

ソリューションビジネス開始

海外

- 中国現地向けシステム開発及びオフショア開発体制の拡充
- 投資採算性と資金効率に考慮した投資・資金管理の徹底
- DC社との連携強化等による中国事業展開の加速化

中国開発センター拡大

投資・資金管理徹底

中国事業加速化

共通

- DC社との提携具体化／有力企業とのアライアンス推進

アライアンス推進

5. 神州数碼グループ との提携について

目 標

SJIが日本と中国の情報サービスにおける“架け橋”となる

体 制

2010年4月より“戦略事業開発室”を設置(社長直轄プロジェクト)

※ 関連部署からメンバー8名を選任

方 針

中国IT市場の成長に合った“日本サービス”の紹介

ターゲット

ITの潮流は中国においてもBPOであり、特に官公庁、金融などのニーズが高い

例) デジタルシティ

医療システム、災害対策システム、カードシステムなど

オペレーションサービス (リソース)

ASPサービス (センター+アプリ)

SIサービス (ソフト+開発)

基盤サービス (ハード+ネットワーク)



**BPO
サービス**

アクション

現在2つのアプローチを実行中

日本を代表するIT企業との業務提携支援

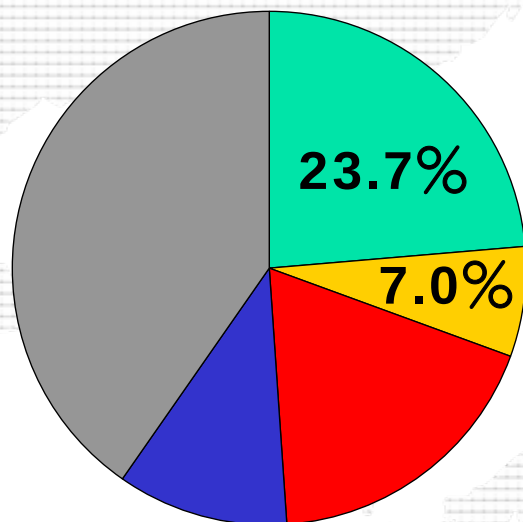
- ・ 候補企業は神州数碼グループトップからの要望による
- ・ 中期的な活動が必要
- ・ 目標 2010年 2社、2011年 2社

神州数碼グループの現場ニーズへの対応

- ・ 2010年1月より神州数碼グループの各ビジネスユニットから現場ニーズのヒアリングを開始、5月で第1フェーズを終了
- ・ 6月から具体的な絞込みを開始
- ・ 目標 2010年 3案件、2011年 10案件

➡ **2010年度の業績見通しには含まれておりません**

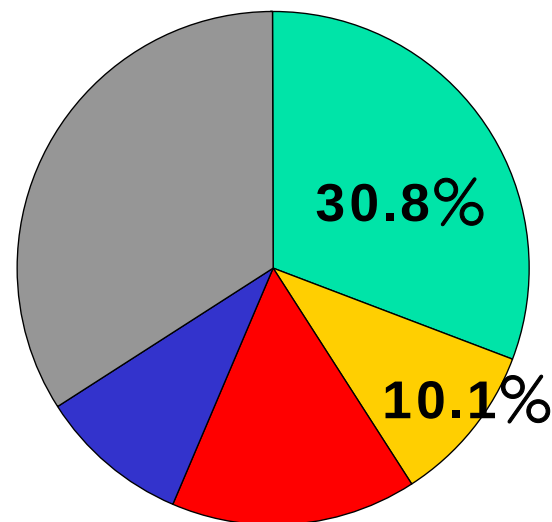
2010年3月31日



■ Digital China Software
■ KING TECH SERVICE HK
■ 顧客株主
■ 役員
■ その他

2010年度に更なる大株主(約30.7%⇒約40.9%)となる可能性があり、SJIは最大23億の増資となります。

201X年X月XX日



発行済株式数 718,799株

新株予約権を全て行使

新株予約権

Digital China Software 90,000株

KING TECH SERVICE HK 35,000株

行使価額 18,500円

行使期間 2010年6月30日

～2011年12月29日

発行済株式数 843,799株

本資料の記載事項は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。
今後の業績につきましては、様々な要因によって予想数値と異なる可能性がありますので、あらかじめご承知おきください。

【別紙】 数値編

●2009年度実績①前年比【連結】



単位:百万円

	2008年度		2009年度		前年比
	数 値	構 成 比	数 値	構 成 比	
売 上 高	25,794	100.0%	22,020	100.0%	85.4%
営 業 利 益	1,441	5.6%	1,316	6.0%	91.3%
経 常 利 益	1,247	4.8%	1,241	5.6%	99.6%
特 別 利 益	240	0.9%	119	0.5%	49.5%
特 別 損 失	368	1.4%	382	1.7%	103.9%
当期純利益	△248	△1.0%	80	0.4%	—%

●2009年度実績①前年比【単体】

単位:百万円

	2008年度		2009年度		前年比
	数 値	構 成 比	数 値	構 成 比	
売 上 高	1,289	100.0%	8,221	100.0%	637.8%
営 業 利 益	693	53.7%	263	3.2%	38.1%
経 常 利 益	364	28.3%	331	4.0%	90.1%
特 別 利 益	47	3.7%	106	1.3%	225.5%
特 別 損 失	-	-%	410	5.0%	-%
当期純利益	319	24.8%	△71	-%	-%

※ 当社は、2009年7月1日付で純粋持株会社から事業持株会社に移行しております。

●2009年度実績②予想比【連結】



単位:百万円

	期 初 予 想 値		2 0 0 9 年 度		達 成 率
	数 値	構 成 比	数 値	構 成 比	
売 上 高	26,000	100.0%	22,020	100.0%	84.7%
営 業 利 益	1,700	6.5%	1,316	6.0%	77.4%
経 常 利 益	1,650	6.4%	1,241	5.6%	75.2%
特 別 利 益	—	—%	119	0.5%	—%
特 別 損 失	—	—%	382	1.7%	—%
当 期 純 利 益	600	2.3%	80	0.4%	13.3%

●2009年度実績②予想比【単体】

単位:百万円

	期 初 予 想 値		2 0 0 9 年 度		達 成 率
	数 値	構 成 比	数 値	構 成 比	
売 上 高	11,500	100.0%	8,221	100.0%	71.5%
営 業 利 益	800	7.0%	263	3.2%	32.9%
経 常 利 益	700	6.1%	331	4.0%	47.3%
特 別 利 益	-	-%	106	1.3%	-%
特 別 損 失	-	-%	410	5.0%	-%
当 期 純 利 益	400	3.5%	△71	-%	-%

単位:百万円

	2008年度		2009年度		前年比
	数 値	構 成 比	数 値	構 成 比	
人 件 費	1,652	44.3%	1,283	40.1%	77.7%
研究開発費	66	1.8%	44	1.4%	66.7%
旅費交通費	154	4.1%	140	4.4%	91.1%
そ の 他	1,853	49.7%	1,730	54.1%	93.4%
販管費合計	3,727	100.0%	3,198	100.0%	85.8%

※人件費には、役員報酬を含んでおります。

(数値は連結)

● バランスシート概要 【連結】

単位:百万円

		2008年度		2009年度		増 減
		数 値	構 成 比	数 値	構 成 比	
資産の部	流動資産	14,941	72.9%	15,391	68.3%	450
	固定資産	5,557	27.1%	7,129	31.7%	1,571
	繰延資産	—	0.0%	—	0.0%	—
	資産合計	20,499	100.0%	22,521	100.0%	2,021
負債の部	流動負債	8,845	43.2%	8,365	37.2%	△480
	固定負債	2,449	12.0%	1,626	7.2%	△823
	負債合計	11,295	55.1%	9,991	44.4%	△1,303
少数株主持分		1,860	9.1%	1,404	6.2%	△456
純資産合計		9,203	44.9%	12,529	55.6%	3,325
負債純資産合計		20,499	100.0%	22,521	100.0%	2,021

● バランスシート概要 【単体】

単位: 百万円

		2008年度		2009年度		増 減
		数 値	構 成 比	数 値	構 成 比	
資産の部	流動資産	4,159	31.2%	12,400	67.6%	8,240
	固定資産	9,166	68.8%	5,950	32.4%	△3,215
	繰延資産	—		—	—%	—
	資産合計	13,325	100.0%	18,351	100.0%	5,025
負債の部	流動負債	4,806	36.1%	6,723	36.6%	1,916
	固定負債	2,078	15.6%	1,360	7.4%	△718
	負債合計	6,885	51.7%	8,083	44.1%	1,198
純資産合計		6,440	48.3%	10,267	56.0%	3,827
負債純資産合計		13,325	100.0%	18,351	100.0%	5,025

●キャッシュフロー概要【連結】



単位:百万円

	2008年度	2009年度	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	416	966	549
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,473	△1,095	378
財務活動による キャッシュ・フロー	1,030	3,915	2,884
現金及び現金同等物 期末残高	4,478	3,878	△600